

「病児保育」の体制強化を知事に提案！

福岡県議会議員

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま
政治刷新中！

第48号
2018年5月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■子ども貧困対策強化
■タイ教育大臣と会談

子育て支援 保育の量的拡大を 企業の柔軟な働き方も促進

子育て支援の充実を図る観点から、子どもが病気になる際、病院などが一時的に預かる

「病児保育事業」の体制強化が求められます。多くの保護者の皆さんが直面している課題であり、私もご相談をいただいています。そこで、福岡県議会2月定例会（2月26日～3月28日）の本会議・一般質問で取り上げ

小川洋知事に提案しました。

県内では、インフルエ
ンザの流行期をはじめ季節による変動で定員超過
が起きるなど、病児保育
の需要に追いついていな
い地域もあり、3年前の
2015年に策定した県
の計画に基づく対応だけ
では改善が困難な状況も
あります。このため、私
から県として県内市町村
の実情を正確に捉え直し、
病児保育の体制を強化す
べきと提案。知事は「今
後、利用実態を踏まえ、
実施主体の市町村と協議
したうえで課題を整理し、
必要な体制整備が図られ
るよう支援をしていく」
と表明しました。今後、
調査の実施とときめ細かな
支援につながるものが期
待されます。

病児保育施設の市町村
を越えた広域利用の拡大
や保護者に対するイン
ターネットを利用した周
知の重要性も指摘しまし
た。知事は「現在、県の
ホームページに掲載して
いる施設名、連絡先など
に加え、今後、同意が得
られた市町村については
広域利用に関する情報を
追加し、内容の充実を図
る」と述べました。

さらに、病児保育の体
制整備による保育の量的
拡大とあわせ、企業・事
業所で柔軟な働き方が認
められていることも求め
られます。県は企業トッ
プ自らが従業員の仕事と
子育ての両立支援を宣言
する「子育て応援宣言企
業」の登録制度（629
4社、今年2月末現在）
を進めており、この中で
「病児保育所への送迎の
ための遅出、早退を認め
ます」といった柔軟な対
応を宣言する企業を広げ

るため、知事は「登録更
新などの機会を捉えて働
きかけていく。先進例を
宣言企業の新規開拓の際
に紹介するほか、子育て
応援宣言ホームページや
企業向けのメールマガジ
ンに掲載するなど、様々
な機会を通じて周知を
図っていく」と表明しま
した。

漁業調査取締船 「げんかい」竣工

福岡県の新たな漁業調
査取締船「げんかい」が
竣工し、農林水産委員と
して3月の記念式典に参
加しました。マダイやト
ラフグなど多種多様な水
産資源に恵まれた筑前海
で、漁場環境の調査や取
り締まりなどの現場で活
躍します。県議会として
昨年6月定例会で建造を
承認していました。耐波
性と高速性があり、災害
時の島民避難や漁船の遭
難事故などの緊急時にも
対応。搭載船「第二げん
かい」も高い能力を備え
ています。水産資源の保
護と管理は県政の重要な
取り組み。県議会として
図っていきます。



病児保育の推進を提案した一般質問。前向きな答弁が得られた
=2018年3月7日、県議会本会議

（この部分のテキストは上記の「子育て支援」欄と重複するため省略）

（この部分のテキストは上記の「病児保育」欄と重複するため省略）

（この部分のテキストは上記の「漁業調査取締船」欄と重複するため省略）



田辺の政治活動を 連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
- ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>
- facebook <http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
- Twitter アカウント→@tanabe_kazuki

竣工式で知事や守谷正人副議長、農林水産委員の皆さんと
田辺は右から2人目=3月29日

子どもの貧困対策を強化 — 予算規模が783億円に拡大！

高校進学率や就職率が改善中

中退防止の訪問支援を強化

私は社会における貧困・格差の解消を重要な政治課題と位置づけ、福岡県の「子どもの貧困対策推進計画」の策定段階から積極的に関わってきています。これまでの県議会本会議における質問の中で、県内の貧困状態にある子どもが「5人に1人」と全国よりも厳しい状況にあるとの試算を明らかにしたうえで、計画の指標に数値目標を設定することなどを知事に提案、実現してきました。

今年度の当初予算では、子どもの貧困対策に関係する事業数が、昨年度の105事業から111事業に、予算額も759億円から783億円が増え、さらなる対策の強化が図られています。

当初予算の内容を受け、2月定例会の一般質問でも知事と議論しました。特に私の提案を受けて数値目標を設定している4つの指標については、計画策定時に基準とした13年と直近値である16年の数値を比較すると、生活保護世帯に属する子どもの高校等進学率は2・3ポイント増の89・4%▽同

じく高校等中退率は1・5ポイント減の5・1%▽同同じく就職率は1・8ポイント増の44・3%▽児童養護施設の子どもの大学進学率は5・1ポイント増の19・8%―にそれぞれ改善していることが分かりました。

あわせて、私から16年度から実施している高校中退防止のための訪問支援事業の課題を質し、知事は、高校での認知度が低い実態を受け、「高校やスクールソーシャルワーカーに対し十分周知を行い、その上で子ども支援オフィスと学校との連携を密にし、支援が必要な生徒の把握に努めていく」との考えを示しました。

今年度の当初予算では、子どもの貧困対策に関係する事業数が、昨年度の105事業から111事業に、予算額も759億円から783億円が増え、さらなる対策の強化が図られています。



子どもの貧困対策を議会で継続的に取り上げ、対策強化につなげている

福岡県総合防災訓練 6月3日に古賀で開催！

福岡県の今年度の「総合防災訓練」が6月3日（日）午前10時から古賀市で開催されます。メイン会場は筵内の玄望園。福岡県、古賀市、新宮町、粕屋北部消防本部、消防団、警察、自衛隊、医療機関、ボランティア団体などの約90機関が参加する大規模なものです。当日、住民の皆さんはどなたでも、ヘリコプターや各種防災車両などが参加する訓練の様子を参観したり、消火や救護の訓練、AED使用、炊き出しといった体験イベントなどに参加したりできます。多岐にわたる内容で訓練を実施しますので、ぜひご参加ください。

福岡県馬術競技場（古賀市筵内564）に駐車場を準備します。ご参加の方は同競技場からシャトルバスを利用して会場に移動しますのでよろしくお願いたします。問い合わせは、福岡県防災企画課（092・643・3112）まで。

タイの教育大臣と会談 — 子どもの相互交流を促進へ

訪日したタイのティラキアット教育大臣と会談しました。4月12日、樋口明議長らと一緒に私も福岡県タイ友好議員連盟の事務局長として歓迎。タイ総領事館の福岡県への設置が年内に実現する運びとなり、大臣には昨年直接協力を求めた経緯もあることから設置実現に深く感謝を申し上げました。



県議会の代表でタイの教育大臣（前左列から2人目）を囲んで
= 4月12日

大臣からはとても熱心に日本と福岡県の教育についてご質問いただきました。私からは子どもたちが主体的・能動的にともに学び合うことの意義について、「学びの共同体」の先進事例も示しながら説明。教員免許の取得システムの違いについても伝えました。

会談では、福岡とタイの子どもたちの相互交流を促進することでも思いを共有できました。また、タイの経済政策「東部経済回廊（EEC）」に関連して工業系教育にとっても力を入れていること、高等教育の底上げを目指していることがよく理解できました。

OEECの投資・開発計画 — 県内企業の進出を後押し

なお、EECとは、タイが経済発展を目指して推進する投資・開発計画で、タイ東部のチャチェンサオ、チョンブリー、ラヨーンの3県で工業地域の形成、港湾や空港の拡張などを推進。今年2月に福岡県を訪問したソムキット副首相も県内企業のタイへの進出を求めています。知事も「投資意欲のある企業を対象とした本県独自の経済ミッションを派遣し、タイ政府投資委員会を招いての投資セミナー開催も検討する」との考え。総領事館の設置はこうした経済交流の活発化も促します。

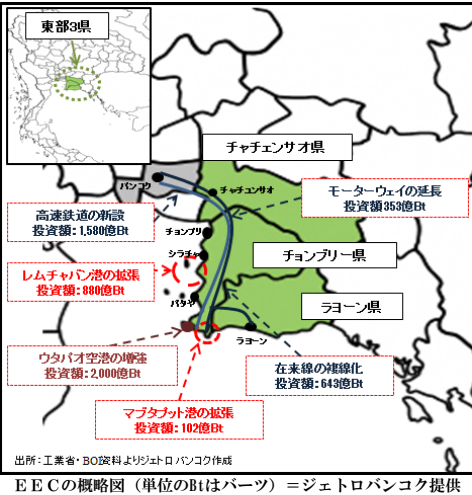
田辺かずき事務所からのお知らせ

【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があってこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただきます。事務所（092-692-8510）まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書（1~2カ月に1回のペースで発行）で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。事務所（092-692-8510）までご連絡ください。



<田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業（高51回）
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 2013年 新社会推進商工委員会（～15年）
防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会（～15年）
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長（～17年）



- 【所属】
福岡県議会・農林水産委員会
同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
同・タイ友好議員連盟事務局長
同・スポーツ議員連盟幹事
- 国民民主党全国青年委員長
国民民主党【衆議院】福岡県第4区総支部代表代行
福中・福岡同窓会顧問
古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】
会社員の妻、11歳の長男、7歳の長女
古賀東小学校PTCA前会長（PTCA=PTA+地域のC）